

理 事 会 議 事 録

2026年4月11日午後1時30分、オンラインで理事会を開催した。

理事総数	11名
出席した理事数	8名
監事総数	2名
出席した監事数	2名

副会長 大塚基永氏が選ばれて議長となり議長席に着き、ただちに下記議案の審議に入った。

<会長報告及び各部局委員会報告>

会長、理事、各部局委員長、ブロック長は2026年度第1回理事会資料を提出し、報告した。

副会長 平川氏は、これまで、新入会の優遇を検討しているが、2025年度の退会者を分析すると、中堅の世代が退会しないような方策を検討する必要があると発言した。

副会長 大塚氏は、入会予定者の把握はしているのかと発言した。副会長 平川氏は、以前は各施設に問い合わせるなどして把握に努めていたが、現在はそれが困難なため、把握していないと発言した。

地域社会振興部長 金谷氏は、地域支援事業の動向を知る会を企画しており、青森ブロックでは6月20日(土)、弘前ブロックでは6月12日(金)、八戸ブロックでは6月26日(金)、西北五ブロックでは6月13日(土)、上十三ブロックでは6月27日(土)、下北ブロックでは7月11日(土)、いずれも18時半から20時で開催し、終了後に懇親会も企画していると発言した。

第37回青森県作業療法学会長 北澤氏は、学会の参加登録を開始していると発言した。

障害者スポーツ大会推進委員長 佐々木氏は、障害者スポーツ大会が10月に開催される予定であり、当士会から70名のサポーターが参加予定である。育成研修会も予定しているため支援していくと発言した。

運転と地域移動支援推進委員長 佐々木氏は、高次脳機能障害者への運転の支援について、支援してくれる医師と面会する予定を進めていると発言した。

副会長 大塚氏は、今年度の5歳児健診への参画は、平川市と青森市だけを予定しているのかと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、平川市と青森市の2か所から依頼があり、他は本会の参画はないものの活動している様子であると発言した。副会長 大塚氏は、個人で参画しているOTもいるのかと発言した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、どの職種が参画しているかも不明であると発言した。副会長 大塚氏は、残り38市町村の状況の情報収集をした上で、可能な限り協力したいと発言した。

第1号議案 2026年度事業報告・決算報告について

(1) 2026年度事業報告について

副会長 大塚氏は、2026年度事業報告について、資料を提示し、協議を求めた。

監事 藤原氏は、特別支援関連参画推進委員会主催の研修会において、テーマ、講師、開催日、受講料が事業計画と事業報告とで異なるものがあり、議案書では士会活動の方針を示し、会員への説明義務を果たしているが、受講料、開催日が議案書と実績とで相違があるのはなぜかと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、受講料の相違はミスであり、テーマの相違については、前年度に講師から了承を得ていたが、講師からの提案により変更し、それを委員会のみで判断しまったと回答した。監事 藤原氏は、事業計画において受講料を無料としている研修会も受講料を徴収しているものがあるのかと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、開催案内の記載通りに徴収しているが、事業計画とは異なるものがあると回答した。監事 藤原氏は、議案書の記載内容と開催日などが大きく変わると会員も計画が立てづらいため、可能な限り、変更せずに実施してほしいと発言した。加えて、委員の負担も大きいと推測されるため、委員会がうまく機能するように理事会でも検討してほしいと発言した。

副会長 平川氏は、テーマや講師が変わった研修会は、変更としての記載ではなく、それを中止とし、新しい研修会を実施したという形で報告したらよいかと質問した。監事 藤原氏は、事業計画とテーマは異なるが内容が類似するものはそのまま、内容が異なるものは中止として、新たな研修会を実施したものとして報告するとよいと回答した。加えて、受講料を無料で計画していたが、徴収した点は問題であるため、今後はこのようなことがないようにしてほしいと発言した。会長は、特別支援関連参画推進委員会は、今年度の事業実施もしっかり行ってほしく、また、研修会や外部からの依頼への対応により、委員長も多忙と思われるため、委員会の体制について再検討すると発言した。

副会長 平川氏は、ブロックで計画されていた啓発活動や認知症関連の相談への対応などの報告をしてほしいと発言した。弘前ブロック長 椎名氏は、認知症の人と家族の会のつどいには出向いておらず、また、各市町村への啓発活動の検討は実施したと発言した。八戸ブロック長 慶長氏は、認知症の人と家族の会のつどいでの相談対応は2件であったと発言した。青森ブロック長 佐々木氏は、認知症カフェでの相談対応を実施したと発言した。西北五ブロック長 工藤氏は、西北五ブロック各市町村への啓発活動の検討は実施したと発言した。上十三ブロック長 漆館氏は、認知症の人を家族の会のつどいでの相談対応を実施したと発言した。副会長 平川氏は、今後、対応件数や内容について、地域での実績をぜひ報告してほしいと発言した。

副会長 大塚氏は、2026年度事業報告について、理事に諮ったところ、賛成多数をもってこれに決定した。

(2) 2026年度決算報告について

副会長 大塚氏は、2026年度決算報告について、資料を提示し、協議を求めた。

副会長 平川氏は、特別支援関連参画推進委員会の事業報告で、研修会に参加したとあるが決算報告にはないのはなぜかと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、研修会には参加していないため、記載の誤りであると発言した。

副会長 大塚氏は、精神科作業療法の11月22日に実施された研修会の参加人数が、事業報告では14名だが、決算報告では15名となっているがどちらが正しいかと質問した。

精神科作業療法推進委員長 小枝氏は、当日の欠席分の相違であると回答した。

理事 上谷氏は、貸借対照表の銀行名に間違いがあると発言した。

副会長 大塚氏は、循環器疾患に対する作業療法の研修の参加率が良かったが、参加者を集める工夫があったのかと質問した。教育部長 柏崎氏は、他の研修会と比較して、特段の工夫はしていないが、これまでにない内容であったため参加率が高かったと考えていると回答した。

副会長 大塚氏は、予算の執行率が低い部署は、執行していない計画を今年度はどのように予算の立案をしたのかと質問した。倫理委員長 後藤氏は、福利部は、電報が4件分を計画したものの支出はなかったが、過去の実績を基に計上したと回答した。会長は、災害対策委員会では、会議の開催をオンラインと対面と1回ずつ計上していたが、オンラインのみで開催したため、今年度はそれを踏まえてオンラインで実施する計画であると回答した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、前年度は会議をオンラインで実施したが、今年度は対面で実施することで計上し、訪問支援の同行者の都合がつかず日当の執行率が低かったが、今年度は人材育成のため前年度予算と同様に計上していると回答した。会長は、特別支援関連参画推進委員会で印刷製本費も支出していないがなぜかと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、研修会の資料は電子データで送信したことが理由であると回答した。会長は、今年度もそうする予定かと質問した。特別支援関連参画推進委員長 秋元氏は、リーフレットは電子データでよいという団体もあるが、印刷製本費を計上していると回答した。副会長 平川氏は、リーフレットや会議の開催形態など、随時事業を見直し、変更があれば、それに伴う予算の変更は可能な限り早い段階で判断してほしいと発言した。

会長は、これまで、赤字決算を心づもりしていても、年度末に黒字となることがあったが、基金の取り崩しが87万円となったものの、今年度は計画通り執行できたと考えられ、未払い金の発生は十分に反省し、今後も適正な執行をしてほしいと発言した。加えて、会議の開催方法は、オンラインか対面かで支出が大きく変わるため、なるべくオンラインで実施してほしいが、対面での開催の必要性も考えてほしいと発言した。

監事 藤原氏は、前年度は、実情に応じて、支出を削減しつつも事業を実施することができたため、予算を多めに計上した方が安心という気持ちもあると考えるが、実情に応じた割り振りをすることで、新しい事業への着手ができるので、中・長期目標を振り返りながら計画を見直しつつ事業を実施してほしいと発言した。

副会長 大塚氏は、2026年度決算報告について、理事に諮ったところ、賛成多数をもってこれに決定した。

第2号議案 新入会員に対する優遇について

副会長 大塚氏は、新入会員に対する優遇について、資料を提示し、協議を求めた。

会長は、会費の値上げもあり、会員数の状況を確認しながら検討したいため、次の協議を11月の理事会としたいと、また、新入会の促進に加え、既存の会員の入会継続の方策も検討したいと発言した。

副会長 平川氏は、予算案では、会費収入を1,055名で算定しているが、そこに届かない可能性があり、優遇による赤字は避けなければならないと発言した。

副会長 大塚氏は、以上を踏まえて、新入会員に対する優遇について、11月の理事会で協議することを理事に諮ったところ、賛成多数をもってこれに決定した。

第3号議案 2026年度総会議案について

副会長 大塚氏は、2026年度総会議案について、資料を提示し、協議を求めた。

副会長 大塚氏は、2026年度総会議案について、理事に諮ったところ、賛成多数をもってこれに決定した。

以上で本日の議案を終了したので、議長は、午後3時5分に閉会を宣した。

上記の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席した理事が記名押印する。

2026年4月11日

一般社団法人青森県作業療法士会理事会において

議長

副会長 大塚 基永 ㊟

会 長 三橋 武信 ㊟

副会長 平川 裕一 ㊟

副会長 佐々木 良範 ㊟

理 事 上谷 英史 ㊟

理 事 菩提寺 玲子 ㊟

理事 小枝 周平 ㊟

理事 今井 寛人 ㊟

監事 藤原 健一 ㊟

監事 算用子 暁美 ㊟